

申立書記載例 (成年後見開始)

☆ 遺産分割協議をする場合

申立書を提出する裁判所

提出年月日

	受付印	後 見 開 始 申 立 書
		(この欄に収入印紙800円をはる。)
収入印紙 円		印 紙 (はった印紙に押印しないでください。)
予納郵便切手 円		
予納登記印紙 円		

準口頭		関連事件番号 平成 年(家)第	号
-----	--	-----------------	---

○ ○	家庭裁判所	申立人の	
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	御中	署名押印 又は記名押印	甲野花子 (印)

添付書類	申立人の戸籍謄本 通 (本人以外が申し立てるとき) 本人の戸籍謄本 通、戸籍附票 通、登記事項証明書 通、診断書 通 成年後見人候補者の戸籍謄本 通、住民票 通、身分証明書 通、登記事項証明書 通
------	--

申 立 人	本 籍	〇〇 都 道 〇〇 市 〇〇 町 〇番地 府 県
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 〇丁目 〇番 〇号 () 方
	フリガナ 氏 名	コウノ ハナコ 大正 〇年 〇月 〇日生 甲野 花子 (昭和)
	職 業	公務員
本 人 と の 関 係	※ 1 本人 ② 配偶者 3 四親等内の親族 () 4 未成年後見人・未成年後見監督人 5 保佐人・保佐監督人 6 補助人・補助監督人 7 任意後見受任者・任意後見人・任意後見監督人 8 その他 ()	
本 人	本 籍	都 道 申立人の本籍と同じ 府 県
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 大阪府 〇〇 市 〇〇 町 〇丁目 〇番 〇号 〇〇 病院 () 方
	フリガナ 氏 名	コウノ タロウ 明治 〇年 〇月 〇日生 甲野 太郎 (昭和)
	職 業	無 職

成年後見人を付する必要がある方に
ついて記入してください。
申立人と同じ場合は記入しなくても
構いません。

裁判所から連絡がとれるように
正確に記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ※の部分には当てはまる番号を○で囲み、3又は8を選んだ場合には、()内
に具体的に記入してください。

この申立てをするに至ったいきさつや、
 事情を分かりやすく記入してください。

申 立 て の 趣 旨
本人について後見を開始するとの審判を求める。

申 立 て の 実 情
(申立ての理由、本人の生活状況などを具体的に記入してください。)
<p>本人は、10年程前からアルツハイマー型認知症で〇〇病院に入院しているが、その症状は回復の見込みがなく、日常的に必要な買物も一人ではできない状態である。昨年11月に本人の兄が亡くなり、遺産分割の必要が生じたことから本件を申し立てた。申立人も病気がちなので、成年後見人には、健康状態に問題のない長男の甲野夏男を選任してもらいたい。</p>

法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。

成年後見人候補者	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 申立人の住所と同じ	電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇
	フリガナ氏名	コウノ ツオ 甲野 夏男	大正 〇 年 〇 月 〇 日生 (昭利)
適当な人がいる場合に記載してください。	職 業	会社員	本人との関係 長男
	勤務先	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇株式会社 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇	

(注) 太わくの中だけ記入してください。

申立書記載例 (保佐開始)

☆ 不動産を売却するについての代理権の付与を求める場合

申立書を提出する裁判所

提出年月日

受付印	保 佐 開 始 申 立 書						
<table border="1"> <tr> <td>収入印紙</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>予納郵便切手</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>予納登記印紙</td> <td>円</td> </tr> </table>	収入印紙	円	予納郵便切手	円	予納登記印紙	円	<p>(この欄に収入印紙800円をはる。1件について800円)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">印 紙</div> <p>(はった印紙に押印しないでください。)</p>
収入印紙	円						
予納郵便切手	円						
予納登記印紙	円						

準口頭		関連事件番号 平成 年(家)第		号
-----	--	------------------	--	---

○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 13 年 / 月 / 日	申立人の 署名押印 又は記名押印	甲 山 一 郎 (印)
------------------------------------	------------------------	-------------

添付書類	申立人の戸籍謄本 通 (本人以外が申し立てるとき。) 本人の戸籍謄本 通, 戸籍附票 通, 登記事項証明書 通, 診断書 通 保佐人候補者の戸籍謄本 通, 住民票 通, 身分証明書 通, 登記事項証明書 通
------	---

申 立 人	本籍	〇〇 都道 府(県) 〇〇市〇〇町〇番地
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)
	フリガナ 氏名	コウヤマ イチロウ 大正 35年1月24日生 甲 山 一 郎 (昭和)
	職 業	会 社 員
本人との関係	※ 1 本人 2 配偶者 3 四親等内の親族 (本人の長男) 4 (未成年・成年)後見人 5 (未成年・成年)後見監督人 6 補助人・補助監督人 7 任意後見受任者・任意後見人・任意後見監督人 8 その他()	
本 人	本籍	〇〇 都道 府(県) 〇〇市〇〇町〇番地
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 大阪府〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)
	フリガナ 氏名	コウヤマ タロウ 明治 4年9月5日生 甲 山 太 郎 (昭和)
	職 業	無 職

保佐人を付する必要がある方について記入してください。
申立人と同じ場合は記入しなくても構いません。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、3又は8を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

申 立 て の 趣 旨	
本人について保佐を開始するとの審判を求める。	
(必要とする場合に限り、当てはまる番号を○で囲んでください。)	
1 本人が以下の行為（日用品の購入その他日常生活に関する行為を除く。）をするにも、その保佐人の同意を得なければならないとの審判を求める。(☆)	
2 本人のために以下の行為について保佐人に代理権を付与するとの審判を求める。	
(行為の内容を記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
別紙代理行為目録のとおり	

居住用の不動産を売却する場合は、居住用不動産処分の許可も必要となります。くわしくは窓口にお尋ねください。

申 立 て の 実 情	
(申立ての理由、本人の生活状況などを具体的に記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
本人は昨年2月に妻を亡くしてから現住所地で一人暮らしをしてきたが、最近物忘れがひどくなり、日常生活に支障が出てきたので、00年特別養護老人ホームに入所することになった。それでこれまで本人が住んでいた自宅を売りたいと思うが、本人一人ではその手続きが行えないので本件を申し立てた。申立人は遠隔地に住んでいるので、保佐人には本人と同じ00市在住の乙野弁護士を選任してもらいたい。	
保 佐 人	〒000-0000 電話 00(0000)0000 大阪府00市00町0丁目0番0号 () 方
候 補 者	フリガナ オツノハイイチ 大正 30年 1月 /日生 氏 名 乙 野 丙 一 (昭和)
適当な人がいる場合に記載してください。	職 業 弁 護 士 本人との関係
勤 務 先	大阪府00市00町0丁目0番0号00ビル3F 乙野法律事務所

この申立てをするに至ったいきさつや、事情を分かりやすく記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ☆民法第13条第1項に規定されている行為については、申立ての必要はありません。

保佐 (2/2)

法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。

(別紙) (保佐・補助用)

代 理 行 為 目 録

- A 財産（預貯金を除く。）の管理・保存
 - B 財産（預貯金を除く。）の処分・変更
 - 1 売却
 - 2 購入
 - 3 賃貸借契約の締結・変更・解除
 - 4 担保権の設定契約の締結・変更
 - 5 住居等の新築・増築・修繕に関する契約の締結・解除
 - C 預貯金の管理（口座の開設・変更・解約・振込・払戻し）
 - D 貸金庫・保護預かり取引に関する事項
 - E 定期的な収入（賃料・年金等）の受領及びこれに関する諸手続
 - F 定期的な支出を要する費用（賃料・公共料金・ローン返済金等）の支払い及びこれに関する諸手続
- G 遺産分割又は相続の承認・放棄
- H 保険に関する事項
 - 1 保険契約の締結・変更・解除
 - 2 保険金の受領
- I 証書等の保管に関する事項
 - 1 登記済権利証
 - 2 実印・銀行印・印鑑登録カード
 - 3 株券の保護預かり取引等に関する事項
- J 介護契約その他の福祉サービス利用契約等に関する事項
 - 1 介護サービスの利用契約の締結・変更・解除及び費用の支払い
 - 2 福祉施設（有料老人ホームを含む。）への入所に関する契約の締結・変更・解除及び費用の支払い
- K 医療（病院への入院を含む。）に関する契約の締結・変更・解除及び費用の支払い
- L その他の事項
 - 1 ()
 - 2 ()
- M 以上の各事項に関して生ずる紛争の処理に関する事項（示談，訴訟行為，弁護士への訴訟行為の委任等）

以 上

申立書記載例 (補助開始)

☆ 住宅の増改築についての代理権及び高額の物品購入についての同意権の付与を求める場合

申立書を提出する裁判所

提出年月日

受付印		補 助 開 始 申 立 書	
収入印紙 円		(この欄に収入印紙800円をはる。1件について800円) 印 紙 (はった印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手 円			
予納登記印紙 円			

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	-------------------

〇 〇 家庭裁判所 御中 平成 〇 年 〇 月 〇 日	申立人の 署名押印 又は記名押印	甲野 一郎 (甲)
-----------------------------------	------------------------	-----------

添付書類	申立人の戸籍謄本 通 (本人以外が申し立てるとき) 本人の戸籍謄本 通, 戸籍附票 通, 登記事項証明書 通, 診断書 通 補助人候補者の戸籍謄本 通, 住民票 通, 身分証明書 通, 登記事項証明書 通
------	--

申 立 人	本 籍	〇〇 都 道 府 県 〇〇 市 〇〇 町 〇番地	
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 大阪府 〇〇 市 〇〇 町 〇丁目 〇番地 () 方)	
	フリガナ 氏 名	コウノ 一郎 甲野 一郎	大正 〇 年 〇 月 〇 日生 (昭和)
	職 業	無 職	
本人との 関係	※ ① 本人 2 配偶者 3 四親等内の親族 () 4 (未成年・成年) 後見人 5 (未成年・成年) 後見監督人 6 保佐人・保佐監督人 7 任意後見受任者・任意後見人・任意後見監督人 8 その他 ()		
本 人	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 - 電話 () () 方)	
	フリガナ 氏 名	明治 大正 年 月 日生 昭和	
	職 業		

補助人を付する必要がある方について記入してください。申立人と同じ場合は記入しなくても構いません。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。 ※の部分には、当てはまる番号を○で囲み、3又は8を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

申 立 て の 趣 旨	
本人について補助を開始するとの審判を求める。	
(必ず、当てはまる番号を○で囲んでください。)	
① 本人が以下の行為（日用品の購入その他日常生活に関する行為を除く。）をするには、その補助人の同意を得なければならないとの審判を求める。(☆)	
② 本人のために以下の行為について補助人に代理権を付与するとの審判を求める。	
(行為の内容を記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
1につき、金20万円以上の物品の購入	
2につき、別紙代理行為目録のとおり	

別紙を利用する場合は、同意権と代理権を
 区別して記入してください。

申 立 て の 実 情	
(申立ての理由、本人の生活状況などを具体的に記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
私は、一人暮らしをしているが、認知症が出ていると言われ、今後の生活の不安もあるので住んでいる家を増改築し、長男夫婦と同居することにしたい。一人で契約することや登記手続をやるのが不安なので、長男を補助人に選任してほしい。また、最近訪問販売で高価な物を購入して困ったことがあったので、補助人に同意権を与えてほしい。	
補 助 人 候 補 者	住 所 〒000-0000 大阪府00市00町0丁目0番地 電話 00(0000)0000 () 方
	フリガナ 氏 名 甲野 太郎 大正 〇年 〇月 〇日生 (昭和)
	職 業 本人との関係 会社員 長男
	勤 務 先 大阪府00市00町0丁目0番0号 電話 00(0000)0000 〇〇商事

この申立てをするに至ったいきさつや
 事情を分かりやすく記入してください。

(注) 太わくの中だけ記入してください。☆申し立てる行為は、民法第13条第1項に規定されている行為の一部に限られます。

法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。

(別紙) (保佐・補助用)

代理行為目録

- A 財産（預貯金を除く。）の管理・保存
- B 財産（預貯金を除く。）の処分・変更
 - 1 売却
 - 2 購入
 - 3 賃貸借契約の締結・変更・解除
 - 4 担保権の設定契約の締結・変更
 - 5 住居等の新築・増築・修繕に関する契約の締結・解除
- C 預貯金の管理（口座の開設・変更・解約・振込・払戻し）
- D 貸金庫・保護預かり取引に関する事項
- E 定期的な収入（賃料・年金等）の受領及びこれに関する諸手続
- F 定期的な支出を要する費用（賃料・公共料金・ローン返済金等）の支払い及びこれに関する諸手続
- G 遺産分割又は相続の承認・放棄
- H 保険に関する事項
 - 1 保険契約の締結・変更・解除
 - 2 保険金の受領
- I 証書等の保管に関する事項
 - 1 登記済権利証
 - 2 実印・銀行印・印鑑登録カード
 - 3 株券の保護預かり取引等に関する事項
- J 介護契約その他の福祉サービス利用契約等に関する事項
 - 1 介護サービスの利用契約の締結・変更・解除及び費用の支払い
 - 2 福祉施設（有料老人ホームを含む。）への入所に関する契約の締結・変更・解除及び費用の支払い
- K 医療（病院への入院を含む。）に関する契約の締結・変更・解除及び費用の支払い
- L その他の事項
 - 1 (上記の事項に関する登記手続)
 - 2 ()
- M 以上の各事項に関して生ずる紛争の処理に関する事項（示談，訴訟行為，弁護士への訴訟行為の委任等）

以 上